

「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	可児市	学校名	可児市立今渡南小学校			
校長名	上野 哲則	対象学年	6年生全員及び 5年生委員会児童	人数	97人	
活動名	ホタル飼育(総合的な学習の時間)		時間数	24時間	継続年数	27年
題材	1 自然環境(山野・河川・動物・植物・その他) [可児川水質調査・ほたる飼育活動] 2 歴史(出来事・史跡・先人・その他) [] 3 文化(芸能・芸術・民話・風習・その他) [] 4 地場産業(農業・水産業・伝統工芸・その他) [] 5 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [] 6 その他() []					
複数年継続するための工夫改善	・ホタルの飼育は、特にビオトープの管理が難しく、またホタルが生息するのに適した環境を維持するためのノウハウを学校として維持していくことは、校内の担当者が変わったり、教職員が数年で異動したりする現状から、非常に難しい。そのため専門的な知識や経験を持った地域人講師にホタル飼育についての講話を聞く機会を設けたり、PTA 事業部に協力を依頼したりして活動を進めている。さらに河川の水質調査では市役所の環境課の職員の協力があることで、多年にわたって活動を継続している。					

1 ねらい

- ・河川の自然環境の回復や失われた生物を復元させる活動を通して、生まれ育ったふるさとのよさに気付く。
- ・ホタルを核とした環境学習に地域人材を活用し、学校、家庭(PTA)、地域が一体となって取り組むことで、子どもたちがふるさとに愛着をもち、地域のもつ教育力を生かして児童に「生きる力」を身に付けさせる。

2 活動の概要

- ① 可児川の水質調査、カワニナ採集…6月、7月、9月、10月12月に実施
水生生物の採集・観察→可児川の環境状況を調べる。
水質調査…PH、透明度を調べる。 ※可児市役所環境課の協力を得て行っている。
- ② ホタルの飼育



- 《6年生》
- ・調べ学習
 - ・ホタル飼育講習会
 - ・カワニナ採集
 - ・夏休みホタル飼育当番
 - ・いまみ川(学校ビオトープ)清掃
 - ・5年生への活動引継
 - ・幼虫放流

- 《PTA 事業部》
- ・ホタル飼育講習会への参加
 - ・飛翔確認
 - ・夏休みホタル飼育当番
 - ・整備作業(草刈)
 - ・カワニナ採集
 - ・いまみ川(学校ビオトープ)清掃
 - ・幼虫確認

- 《ホタル委員会》
- 5・6年生の委員
- ・幼虫飼育
 - ・広報活動
 - ・ザリガニゲット大会
 - ・環境フェスタ発表



3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・飼育活動では児童と保護者がともに活動することで、親子の絆が深まったという家庭があった。またホタルが飛翔する頃には親子、近隣の方も学校ビオトープへ鑑賞に向向いてくださっている。
- ・可児市主催の環境フェスタ(2月)において本活動の発表の場を設けている。
- ・27年続く活動であり、今渡南小のホタル飼育として校区のみならず、可児市内でも認められている。

4 活動による児童生徒の変容(伸長・成長等)

- ・河川の水質調査を重ねる中で、透視度に関心をもち環境を美しく維持しようとする意識や、水中生物に触れたり、可児市環境課の人たちの話を聞いたりすることで、地域の自然のよさを感じ取るとともに、河川の環境をよくしていくためにゴミを捨てないなど、自分たちができることを考えたり、ふるさとを大切にしようとしたりする気持ちが強く芽生えている。
- ・ホタル当番など飼育に携わった児童は、初めのうちは幼虫を見たり、カワニナを潰したりすることで、気持ち悪いと感じていたが、育てていくうちに一匹も死なせないように大切に、小さな変化も見逃さないように育て、たくさんのホタルが飛んでほしいと願うようになったと委員会活動で報告している。